

NHK への不信感の原因

1996H8 年 11 月 20 日付けの意見を NHK に送ったところ、NHK 福岡の営業部長が自宅を訪問、「わざわざ部長が来てもらうとは」と言う「これも仕事だから、他に要件もあったし」などと言われた。

しかし、『惜しみない拍手を送っていました。』という言い方はあるんですよ、辞書にも書いてあります」と押さえ込む様な高圧的な口調で馬鹿にしたように言われた。

その後、私は広辞苑等で調べてみたが「惜しみない」＝惜しむ必要のない＝取るに足らない としか解せなかったので、電話したら「そうですか」

2011 H23 年 12 月愛媛県松山市へ転出

このとき、実家では BS を見る事が出来ない状況だったので衛星放送契約を外すよう電話で依頼。

「行きは良い良い帰りは怖い」の通り加入は即答だが、外すことでは長い、長い話になって不快な思いをした。

やっと、衛星契約を外す事が出来たら、2,3 週間後、老人が一人の福岡県の実家に NHK の人が来て衛星放送契約をしないと「法的手段を執る」などと恫喝し、衛星放送受信契約にサインさせた。

このことで抗議すると NHK 松山から「橋本係長」(だったと思う)が土曜日に訪問した。私は時間外手当をもらって命じられて来る人でなく管理職に来て欲しいと言ったが、ついに管理職は現われず、根負けして契約した。

するとまた、とんでもない間違い請求。

誠意有る、きちんとした謝罪がないまま翻弄され続けている。

これらの不信感から、受信料の口座引き落としをせず、コンビニ支払いをしている。

そのため NHK の不信に原因がありながら割引を受けられず損害を被っている。

また、抗議のため督促が来るまでわざと支払いを遅らせてみたが、その郵送料、手間の経費などは全て物言わぬ善良な国民だと思ふとやりきれない。

NHK を全てスクランブルにしてくれたら喜んで受診料を払いたいと思っています。

勧誘に回る必要もなく、相当な経費が浮き、ただ見の不公平が是正される。